

様式第8（第15条関係）

|        |  |
|--------|--|
| ※受理年月日 |  |
| ※処理年月日 |  |

## 中 長 期 計 画 書

九州経済産業局長 殿

平成 26年 7月 30日

住 所 宮崎県宮崎市大字小松 1119 番地  
氏 名 一般財団法人潤和リハビリテーション振興財團  
代表理事 大野 和男



（法人にあっては名称及び代表者の役職名、氏名）

エネルギーの使用の合理化に関する法律第14条第1項の規定（法第19条の2第1項において準用する場合を含む。）に基づき、次のとおり提出します。

I 特定事業者（特定連鎖化事業者）の名称等

|                                |  |
|--------------------------------|--|
| 特定事業者番号<br>(特定連鎖化事業者番号)        | 0040281  |
| 事業者の名称                         | 一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団  |
| 主たる事務所の所在地                     | 〒880-2112<br>宮崎県宮崎市大字小松1119番地  |
| エネルギー管理統括者の<br>職名・氏名           | 職名 業務執行理事<br>氏名 東 明  |
| エネルギー管理企画推進者の<br>職名・氏名・勤務地・連絡先 | 職名 本部事務局業務部長<br>氏名 古沢 賢二郎<br>エネルギー管理士免状番号又は講習修了番号<br>01-2010-3-08323<br>勤務地 〒880-2112<br>宮崎県宮崎市大字小松1119番地<br>電話 ( 0985 - 47 - 3744 )<br>FAX ( 0985 - 47 - 5202 ) |

## II 計画内容及びエネルギー使用合理化期待効果

| 内容  | 該当する工場等   | 実施時期       | エネルギーの使用合理化期待効果 |
|---|---|------------|-----------------|
| 夏季及び冬季の節電取り組み（平成24年対比夏季マイナス1%、冬季マイナス1%）                         | 全施設<br>(潤和会記念病院、ひむか苑、宮崎リハビリテーション学院、延岡リハビリテーション病院、小規模多機能ホームマールシェ、本部事務局棟) | 平成26年度     | 13kL/年          |
| 空調温度の一括管理（事務室での温度設定）  | 宮崎リハビリテーション学院   | 平成26年度     | 2kL/年           |
| 潤和会記念病院総合待合ホールの省エネ照明導入（現行高圧ナトリウム灯（385w/台）をLEDダウンライト（170w/台）へ変更） | 潤和会記念病院   | 平成27年度     | 2kL/年           |
| 訪問車輌のエコカー変更<br>低燃費車輌（電気自動車・ハイブリッド自動車等）への順次買換え（平成17年購入車輌より開始）    | 潤和地域包括ケアセンター  | 平成30年度まで順次 | —               |
|   |   |            |                 |
|   |   |            |                 |
|   |   |            |                 |

### III その他エネルギー使用の合理化に関する事項

平成25年度は、潤和会記念病院の病棟改修工事が実施されたのに併せて、対象の2病棟の廊下や食堂談話室などの既存蛍光灯照明をLED照明器具に交換し省エネ対策を施した（平成26年2月竣工）  
また、宮崎市の認証制度である「みやざきエコアクション」の更新認証審査を受審し、更新認証され、今後3ヶ年計画をたて継続して省エネ活動に取り組むこととした。

### IV 前年度計画書との比較

| 削除した計画 | 該当する工場等 | 理由 |
|--------|---------|----|
|        |         |    |
|        |         |    |
|        |         |    |
|        |         |    |
| 追加した計画 | 該当する工場等 | 理由 |
|        |         |    |
|        |         |    |
|        |         |    |
|        |         |    |

- 備考 1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とすること。  
2 文字は、かい書でインキ、タイプによる印字等により明確に記入すること。  
3 計画書冒頭の※印を付した「受理年月日」欄及び「処理年月日」欄には記入しないこと。  
4 IIの「該当する工場等」の欄には、複数工場等が該当する場合はそれぞれの工場等の名称を記載し、全工場等が該当する場合は全工場等と記入すること。  
5 IIの「エネルギー使用合理化期待効果」の欄には、基準年度を報告年度とし、計画完了年度における年間エネルギー消費量の削減効果を記入すること。  
6 IIIには、IIで定量的に記載できないエネルギーの使用の合理化に向けた計画等について記入すること。  
また、この欄のみでは記入が困難な場合は、CSR報告書等の関係資料を添付すること。  
7 IVには、II・IIIについて前年度と比較して記入すること。